

# 介護の未来ナビゲーター 活動を通して

～介護の人材不足に対する考察～

ケアワーカー 吉野

# 「介護の未来ナビゲーター」とは

- ▶ 静岡県の実業
- ▶ 若手の介護職員が介護職の魅力などを情報発信することで若い世代の介護業界への就業を促進することを目的としている。
- ▶ 今年度は27名が参加している。

## 主な活動内容

- ・ 学校訪問（大学・高校）
- ・ インターンシップ企画

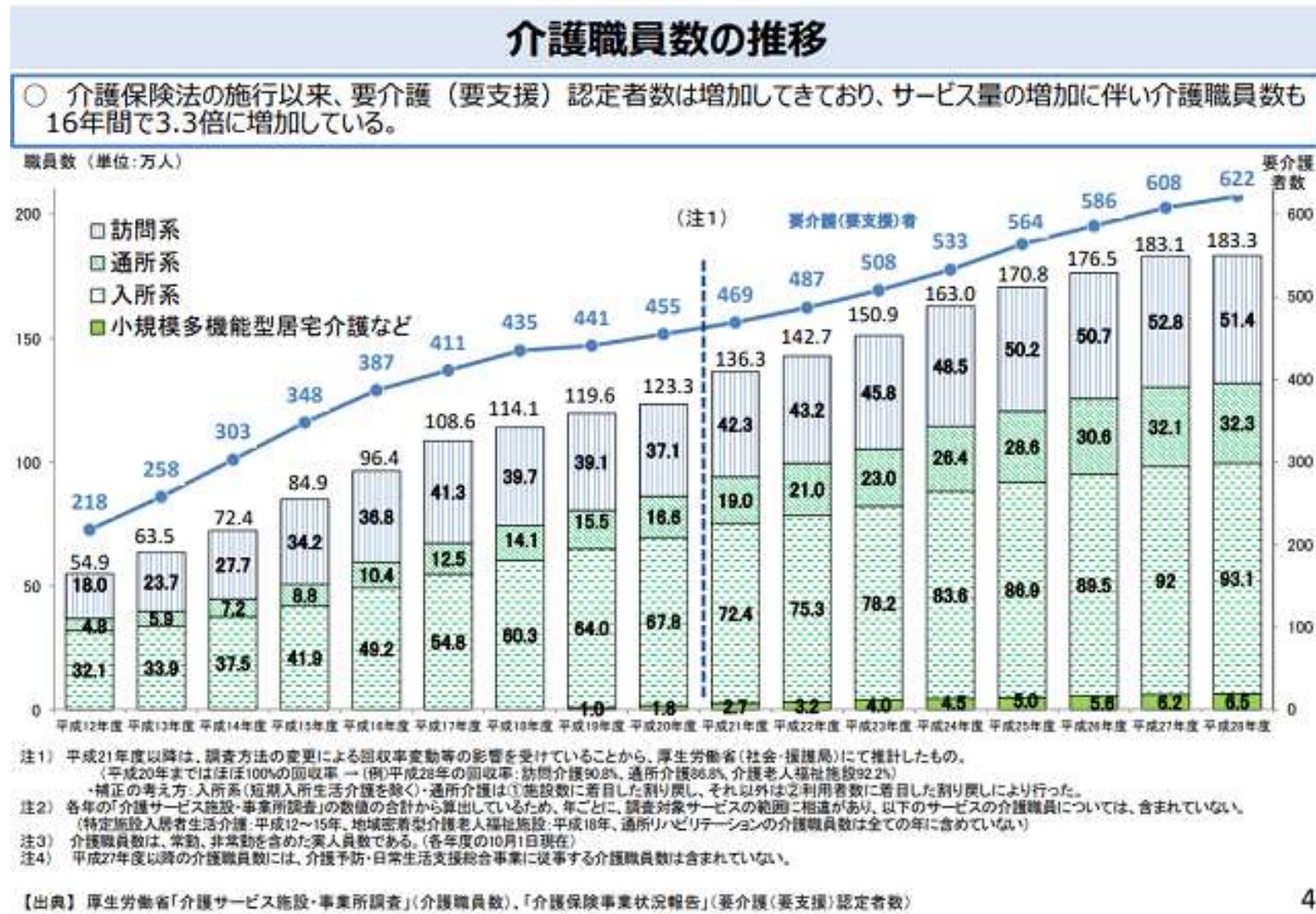
活動を通して、、、

介護分野の人材不足の  
要因と私たちに出来る  
ことを考察しました



実は、、、

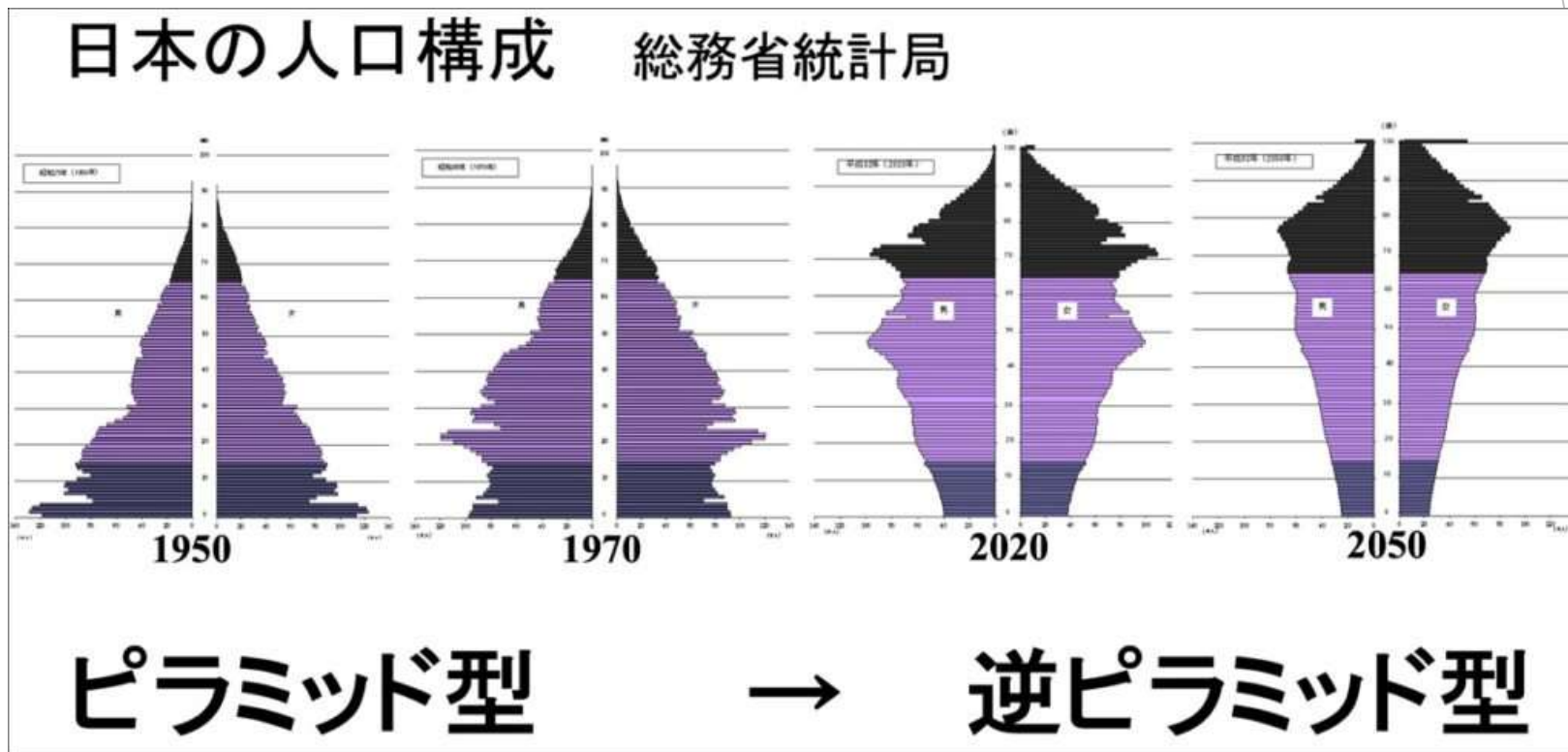
介護職の従事者数は年々増加している



では、なぜ介護分野の  
人材不足が浮き彫りと  
なっているのか？



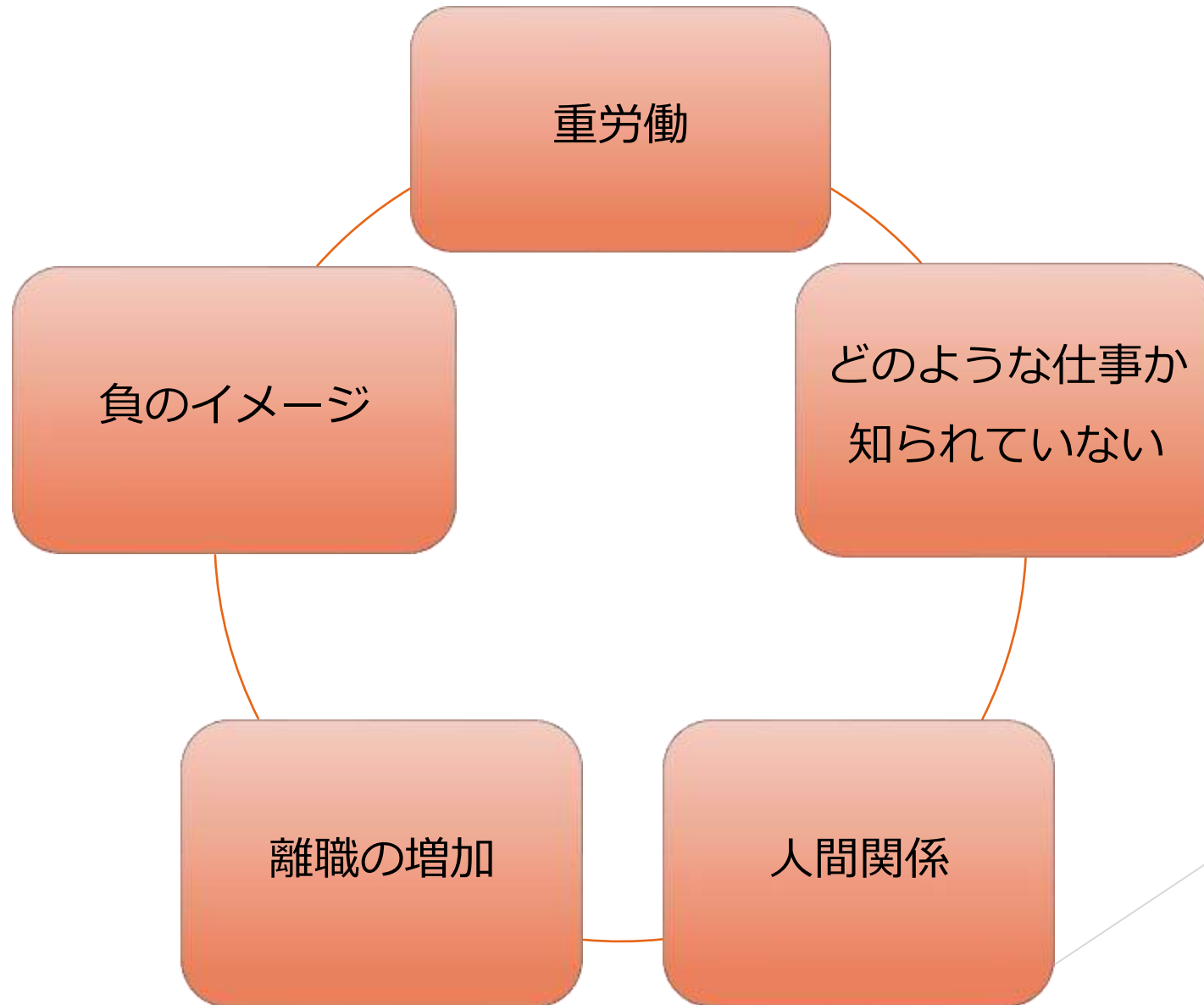
皆様ご存知の通り、、、  
少子高齢化が進行 → 従事者が足りなくなっている



さらなる人材の確保が  
必要となっています



# 介護分野の人材確保を妨げている要因





# ナビゲーターの視点から考える要因

負のイメージ

どのような仕事か  
知られていない

- 
- ・ 就職先の候補から外れてしまう
  - ・ 興味があっても踏み出しにくい

# 介ナビの活動による介護分野の就業への促進

## 学校訪問

- ・介護現場を写真等で紹介する
- ・ナビゲーターのワークライフバランス（仕事とプライベートの両立）を紹介する
- ・ナビゲーターの介護に対する考え（やりがい・なぜ介護の仕事についてのか etc）



- ・介護の負のイメージを解消する
- ・介護を身近に感じていただく

## インターンシップ

- ・介護施設を見学する
- ・介護の仕事がどのようなものか知っていただく
- ・介護者、被介護者の立場となって介護を体験していただく（トロミ飲料・ボディメカニクス・特殊浴体験）



- ・介護に実際に触れることで介護について知っていただく、興味を持っていただく

# 介ナビの活動の課題・反省点 (=活動が人材確保につながらない要因)

**学生のニーズに合わせたインターンシッププログラムの企画や学校訪問時の発表  
ができなかった**

学生のニーズとは、、、

- ・介護職員（若手・ベテラン・男女・様々な年代）と気軽に話せる機会や雰囲気があれば良かった
- ・座談会など介護職員のぶっちゃけ話が聞ける場があれば良かった
- ・説明を聞くだけの時間が長かった



インターンシップ報告会にて判明！

# 今回参加した「常葉大学インターンシップ」の流れ

・応募した学生様にかたくら明和園（誠信会）のインターンシップに参加していただく



・かたくら明和園のインターンシップを参考により人材確保が見込める、興味を持ってもらえるようなインターンシッププログラムを学生様に企画していただく



・企画したインターンシッププログラムを静岡県介護保険課に提案していただく（インターンシップ報告会）



ここでかたくら明和園で開催したインターンシップの改善点が挙げられた

私たちにできること、、、

# 啓発

- ・インターンシップ
  - ・就職セミナー
  - ・施設見学
- etc

しかし、、、

学生様のニーズを把握していない、一方通行な啓発活動では人材確保にはつながらない



## 今回の考察結果

学生が求めているのは調べればわかる情報ではなく  
実際に介護の仕事についている人からのみ聞ける情  
報やぶっちゃけ話である



これらの話をフランクに聞ける場を取り入れることで  
インターンシップや施設見学等の啓発活動が人材確保  
につながる